

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案（ ・ ・ 第 回総会； 市）														
種類	<input type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input checked="" type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他（ ）	分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設												
要望先	<input type="checkbox"/> 国	担当省庁													
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	農政部												
	<input type="checkbox"/> その他	名称													
件名	7 肥料高騰に対する県の緊急対策について														
提案市	長野市・千曲市														
提案要旨	<p>県は6月補正予算で燃油・飼料の高騰対策費用を措置されたが、昨今の情勢を受けて肥料価格も高騰している。</p> <p>国は肥料価格の高騰に支援金を交付する方針を示したが、支援金の交付は早くても年内と想定される。</p> <p>このため、農家を迅速に支援できる緊急対策を講じられるよう県に要望する。</p>														
提案理由	<p>化学肥料の主成分である窒素、リン酸、カリウムはほぼ全量を輸入しているが、円安やウクライナ侵攻などにより原材料価格が高騰し、JA全農は6月以降に供給する秋肥から55～94%値上げする。</p> <p>政府は7月1日に、2008年（平成20年）の制度を参考として本年6月から農家が支払う肥料費高騰分に対して支援する方針を表明したが、支援金の交付は6月から10月の秋肥分でも早くも年内となる。</p> <p>肥料価格高騰の影響はほぼ全ての農家に及ぶことから、営農意欲の減退を最小限にするためにも迅速な支援が必要である。</p>														
現況及び課題等	<p>① 補正予算で農業資材高騰対策を打ち出した都道府県の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>肥料</th> <th>飼料</th> <th>燃油</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都道府県数</td> <td>23</td> <td>41</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>うち長野県</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">（日本農業新聞のR4.6/30記事より）</p> <p>② 他県の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡県 肥料購入経費の上昇分の半額を補助 22億3,270万円 ・ 北海道 肥料購入1トﾝ当たり3,125円を補助 21億円 			項目	肥料	飼料	燃油	都道府県数	23	41	38	うち長野県		○	○
項目	肥料	飼料	燃油												
都道府県数	23	41	38												
うち長野県		○	○												
関係法令															